

回転・大回転 大会史上初

ノルディックスキージョーカーの活躍が、カントリーコースなどで競技を行い、アルペンの男子回転は大越龍之介(東海大四)が合計タイム1分36秒54で逆転優勝し、大回転とのアルペン2冠を大会史上初めて2年連続で達成した。2位には石井智也(北照)が入った。

ノルディックスキージョーカー女子15キロリレーは飯山南(長野)が48分2秒2で優勝した。道内勢は旭大高の6位が最高。男子40キロリレーは新井(新潟)が制し、道内勢は和寒が4位で、おといねっぶは9位だった。

学校対抗は男女とも飯山南が総合優勝した。男子は4大会ぶりの8度目で、女子は3年連続16度目。道内勢では男子は東海大四が、女子は北照がともに3位に入った。来年度の大会は新潟県の湯沢町と十日町市、南魚沼市で開催する。

大越(東海大四) 2年連続2冠

難コース冷静に適応

海外で数多くの戦いを経験してきた高校生世代のエース・大越にとっても、誰も成し遂げたことのない2年連続のアルペン2冠のプレッシャーはすさまじかった。「2回目を滑る15分くらい前からすごく緊張した。海外遠征のときよりもすごかった。吐き気を催すほどだった。だから、偉業を達成した今回の勝利を「今までで一番うれしかった」と、

海外で数多くの戦いを経験してきた高校生世代のエース・大越にとっても、誰も成し遂げたことのない2年連続のアルペン2冠のプレッシャーはすさまじかった。「2回目を滑る15分くらい前からすごく緊張した。海外遠征のときよりもすごかった。吐き気を催すほどだった。だから、偉業を達成した今回の勝利を「今までで一番うれしかった」と、

海外で数多くの戦いを経験してきた高校生世代のエース・大越にとっても、誰も成し遂げたことのない2年連続のアルペン2冠のプレッシャーはすさまじかった。「2回目を滑る15分くらい前からすごく緊張した。海外遠征のときよりもすごかった。吐き気を催すほどだった。だから、偉業を達成した今回の勝利を「今までで一番うれしかった」と、



大回転に続き回転でも優勝、2年連続で2冠を達成した大越(玉田順一撮影)

男子回転	①大越龍之介(東海大四) 1分36秒54	②石井智也(北照) 1分36秒78	③小川(立命館大) 1分41秒80	④伊藤(駒大) 1分41秒80	⑤中野(旭大高) 1分41秒80	⑥寺田(二七) 1分41秒80	⑦伊藤(駒大) 1分41秒80	⑧寺田(二七) 1分41秒80	⑨寺田(二七) 1分41秒80	⑩寺田(二七) 1分41秒80
女子回転	①大越龍之介(東海大四) 1分36秒54	②石井智也(北照) 1分36秒78	③小川(立命館大) 1分41秒80	④伊藤(駒大) 1分41秒80	⑤中野(旭大高) 1分41秒80	⑥寺田(二七) 1分41秒80	⑦伊藤(駒大) 1分41秒80	⑧寺田(二七) 1分41秒80	⑨寺田(二七) 1分41秒80	⑩寺田(二七) 1分41秒80
男子大回転	①大越龍之介(東海大四) 1分36秒54	②石井智也(北照) 1分36秒78	③小川(立命館大) 1分41秒80	④伊藤(駒大) 1分41秒80	⑤中野(旭大高) 1分41秒80	⑥寺田(二七) 1分41秒80	⑦伊藤(駒大) 1分41秒80	⑧寺田(二七) 1分41秒80	⑨寺田(二七) 1分41秒80	⑩寺田(二七) 1分41秒80
女子大回転	①大越龍之介(東海大四) 1分36秒54	②石井智也(北照) 1分36秒78	③小川(立命館大) 1分41秒80	④伊藤(駒大) 1分41秒80	⑤中野(旭大高) 1分41秒80	⑥寺田(二七) 1分41秒80	⑦伊藤(駒大) 1分41秒80	⑧寺田(二七) 1分41秒80	⑨寺田(二七) 1分41秒80	⑩寺田(二七) 1分41秒80

(安福 洋)